

ケアサービス (2425・JASDAQ グロース)

2017年8月30日

1Q はほぼ想定通りに推移。中国ビジネスは順調

リサーチノート

(株) QUICK
豊田 博幸

主要指標 2017/8/28 現在

株 価	2,274 円
発行済株式数	2,100,000 株
時 価 総 額	4,775 百万円

直前のレポート発行日

アップデート	2017/6/19
リサーチノート	2016/12/16

業 績 動 向	売上高 百万円	前期比 %	営業利益 百万円	前期比 %	経常利益 百万円	前期比 %	当期純利益 百万円	前期比 %	EPS 円	
2017/03 通 実 績	8,435	1.6	234	-3.5	289	13.0	156	6.5	81.12	
2018/03 1Q 実 績	2,109	0.4	-0	-	-5	-	-10	-	-5.51	
2018/03 通	会 社 予 想 (2017年5月発表)	8,712	3.3	240	2.5	222	-23.0	140	-10.2	73.94
	アナリスト予想	8,800	4.3	260	11.1	260	-10.1	160	2.5	84.36
2019/03 通	アナリスト予想	9,200	4.5	330	26.9	330	26.9	200	25.0	105.45

1Q 実績はほぼ想定通り

18/3 期 1Q の連結業績は、売上高が前年同期比 0.4%増の 21.1 億円、営業損失が 46 万円(前年同期は 38 百万円の損失)に縮小。主力の介護事業を中心に拠点の統廃合を進めており、売上高は小幅な伸びにとどまったが、拠点統廃合による効率性上昇から売上総利益率が 9.0%→11.6%に改善。販管費は介護スタッフの待遇改善や、新規採用者のコストの増加から同 7.9%増となったが損益は改善した。効率性の上昇が若干想定を超えていたが、全体的にみると、ほぼ想定内の決算だったと、QUICK 企業価値研究所では考えている。主要事業の業績動向をみると、主力の介護事業は、売上高が同 1.1%減の 15.4 億円ながら、デイサービスの稼働率向上や、拠点の統廃合による経費圧縮などにより営業利益は同 43.1%増の 1 億 79 百万円。同部門の売上高営業利益率は 11.6%と、15/3 期 2Q(13.0%)以来、11 四半期ぶりに 10%以上になった。エンゼルケア事業は、売上高が同 7.7%増の 4.3 億円、営業利益は同 38.2%増の 68 百万円。施行件数の増加により増収増益となったが、同部門の売上高営業利益率としては 15.9%と、過去の水準に比べやや低調だった。

18/3 期および 19/3 期の当研究所予想は据え置き

1Q 実績と、足元の動向を踏まえ、当研究所による 18/3 期通期の連結業績予想を据え置き、売上高が前期比 4%増の 88.0 億円、営業利益が同 11%増の 2.6 億円とする。事業別の業績動向の見方も変わらない。介護事業が同 4%増収の 63 億円、営業利益が同 2%減の 5.0 億円を予想。売上高は拡大を見込むが、中国ビジネスの強化や人員増が響き、営業利益は減少する見通しだ。エンゼルケア事業は国内での事業所拡充効果や、中国ビジネスの立ち上げもあり、売上高は同 7%増の 19 億円を見込む。営業利益は人件費増や中国の立ち上げ費用を吸収し同 17%増の 4.6 億円を予想する。なお、会社による 18/3 期通期計画も据え置かれ、売上高が 87.1 億円(同 3%増)、営業利益が 2.4 億円(同 3%増)としている。

続く 19/3 期の連結業績予想も据え置き、売上高が前期比 5%増の 92 億円、営業利益が同 27%増の 3.3 億円を見込む。主力の介護事業の堅調な拡大に加え、高採算のエンゼルケア事業の伸長が寄与する見通し。加えて、中国ビジネスの順調な拡大により増収増益を見込む。

中国ビジネスは順調、上海がやや先行、北京では認知度向上に注力

中国ビジネスは順調に推移しているようだ。国内で展開してきた介護からエンゼルケアまでの事業を中国でも展開する考えだ。居宅介護支援、デイサービス、訪問入浴、訪問介護、訪問看護、エンゼルケアなど高品質なサービスを上海市や北京市など大都市で展開する。

中国は過去の「一人っ子政策」により都市部での介護が深刻な問題になっており、同社のようなサービスの参入余地が大きい。加えて、次の優位性がある。

- ① 介護保険制度開始前から介護事業を展開→大手資本をはじめ最近参入した事業者と違い、同社は介護保険導入前からサービスを展開。今後、介護保険の本格導入が見込まれる中国で過去のノウハウを活かせる
- ② 東京都 23 区に根差した事業展開で実績→東京都 23 区という大都市に根差した事業展開を推進してきたため、上海や北京など大都市でのサービスでは優位
- ③ 一貫サービスの提供→中国で同様のサービスは未だ事業化がされておらず、同社の介護からエンゼルケアまでの一貫サービスは先行者利益の享受の可能性が高い

上海市は、エンゼルケア事業を 17 年 9 月までに 3 つの葬儀場(上海市の国営葬儀場は 15)でサービス開始予定と、ほぼ想定通りに進捗。訪問入浴サービスの拡大を図り、サービスの認知度を高め、葬儀場との契約を増やしていく意向だ。北京市では、訪問入浴事業を展開。フランチャイズ方式で、加盟店の拡大による事業運営を想定。介護研修の受託、デイサービスとサービスを増やし、事業への認知度を高めていくことに注力するとしている。利用者のサービスへの認知度を高めることで、上海市と同様にエンゼルケア事業の立ち上げを目指していくとしている。

ディスクレーム

1. 本レポートは、株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）が実施する「アナリストレポート・プラットフォーム」を利用して作成されたものであり、東証が作成したものではありません。
2. 本レポートは、東証によるレビューや承認を受けておりません（ただし、東証が文面上から明らかに誤りがある場合や適当でない場合にレポート作成会社に対して指摘を行うことを妨げるものではありません）。
3. レポート作成会社及び担当アナリストには、この資料に記載された企業との間に本レポートに表示される重大な利益相反以外の重大な利益相反の関係はありません。
4. 本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的として作成されたもので、有価証券の取引及びその他の取引の勧誘又は誘引を目的とするものではありません。有価証券の取引には、相場変動その他の要因により、損失が生じるおそれがあります。また、本レポートの対象となる企業は、投資の知識・経験、財産の状況及び投資目的が異なるすべての投資者の方々に、投資対象として、一律に適合するとは限りません。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、投資者ご自身の判断でなされるようお願いいたします。
5. 本レポート作成にあたり、レポート作成会社は本レポートの対象となる企業との面会等を通じて、当該企業より情報提供を受けておりますが、本レポートに含まれる仮説や結論は当該企業によるものではなく、レポート作成会社の分析及び評価によるものです。また、本レポートの内容はすべて作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
6. 本レポートは、レポート作成会社が信頼できると判断した情報に基づき記載されていますが、東証及びレポート作成会社は、本レポートの記載内容が真実かつ正確であり、そのうちに重要な事項の記載が欠けていないことやこの資料に記載された企業の発行する有価証券の価値を保証又は承認するものではありません。本レポート及び本レポートに含まれる情報は、いかなる目的で使用される場合におきましても、投資者の判断と責任において使用されるべきものであり、本レポート及び本レポートに含まれる情報の使用による結果について、東証及びレポート作成会社は何ら責任を負うものではありません。
7. 本レポートの著作権は、レポート作成会社に帰属しますが、レポート作成会社は、本レポートの著作権を東証に独占的に利用許諾しております。そのため本レポートの情報について、東証の承諾を得ずに複製、販売、使用、公表及び配布を行うことは法律で禁じられています。

<指標の説明について>

本レポートに記載の指標に関する説明は、東京証券取引所ウェブサイトに掲載されております。

参照 URL ⇒ <http://www.jpx.co.jp/listing/ir-clips/analyst-report/index.html>